

脊椎圧迫骨折

東部地域病院・整形外科(東京都葛飾区)



有名病院 この診療科の イチ押し治療

65歳以上で「背中や腰ば、脊椎(背骨)が潰れが痛い」「4ヶ月以上背がくる圧迫骨折の可能性が縮む」「背中が丸くなる。主な原因は「骨粗し」などの症状があれよう症」だ。

5年前から保険適用

背骨のいつの間にか骨折 バルーンで治す

データ 東京都と東京都医師会が設立した公益法人東京都保健医療公社が運営
◆スタッフ数=医師5人(うち脊椎担当医2人)
◆年間初診患者数(2015年度)=2115人
◆年間手術総数(同)=368件(脊椎手術は120件、うちBKPは12件)

「レントゲンで圧迫骨折 使います」
が見つかったら、治療の基本的な保存的療法です。その患者は癒合するが、骨コルセットを着けて、3粗しう症が進行して、週間以上ベッドの上で安静に潰れた骨が癒合する。その場合、従来であれば金属のネジや棒で骨を固定する大がかりな手術(固定術)が必要にな



ど、圧迫骨折に気付いて 年齢の『いつの間にか骨折不い人』が多い。特に女性に「折を見逃さないことが重要になります」
症が急速に進むので、高 脊椎が1個でも骨折す性が高まるのだ。

ると、2個、3個と骨折連鎖が起る。すると背中が丸くなり、胸が圧迫されて肺活量や食欲が低下する。加えて、腰などの慢性的な痛みがあると抑うつや睡眠障害も起る。結果、日常の活動量が減るので、さらに骨が弱くなり、最終的には「寝たきり」になる危険性が高まるのだ。

手術は1時間以内、早ければ3日間で退院

充填して埋めるだけで手術時間は1時間以内には終わり、骨セメントは20分ほどで固まる。手術の傷は、背中に刺し傷が2カ所だけ。入院は平均1週間、早い人では3日で退院できる場合もあるという。
「術後は、背中や腰の痛みがウソのように改善するので、患者さんから『先生、魔法ですか?』と聞かれるほどです」
ただし、骨粗しう症が治るわけではないので、術後は骨粗しう症の薬の使用は続ける。薬が効いてくるまでの3カ月半年はコルセットの着用が必要になるという。
「脊椎の後側が潰れて、脊髄方向に骨が突出している症例は、BKPの適応にはなりません。ひどくなると固定術しかできなくなる前に、BKPで早めに骨折連鎖をストップさせた方がいい。65歳以上で、長引く腰痛は、圧迫骨折を疑うキーワードです」